

都市再生整備計画(第3回変更)

じゅうおう わかみや
十王・若宮地区

あいち おかざきし
愛知県 岡崎市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	おがき 岡崎市	地区名	じゅうおう 十王・若宮地区	面積	130.0 ha
計画期間	平成	18	年度	～	平成	22	年度
交付期間	平成	18	年度	～	平成	22	年度

目標 大目標 業務機能の集積と良好な都市基盤を背景とした、安全安心・快適なまちづくり 目標1: 岡崎げんき館を中心とした健康づくり活動の活性化 目標2: 防災意識の向上による防災活動の活性化

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <p>・本地区は、本市における鉄道交通の主要な玄関口である東岡崎駅に隣接し、東名高速道路、国道1号、主要地方道名古屋岡崎線など自動車交通の結節点である東名岡崎インターチェンジ周辺に近接する広域交通が著しく発達した地区であり、旧来から市役所、消防本部、福祉会館、文化ホールなど本市における業務・文化機能の拠点施設が集積する日常生活の利便性に富んだ地区でもある。</p> <p>・また、図書館、生涯学習センターなど文化施設等の集積による活性化を目指している中心市街地(都市再生整備計画地区)と新市民病院、県立病院、中央総合公園など健康・医療施設が集積した地区との中間に位置しており、近年、その生活利便性を大きく向上させている地区である。</p> <p>・本地区では、地域活性化の一翼を担ってきた市民病院が移転した跡地の活用が懸案事項であったが、平成15年4月の中核市移行を契機に市民とのワークショップを通じ、少子高齢化対策の一環として、安心して子どもを生み健やかに育てることができ、高齢者の生きがいづくりを支援しながら健康寿命の延伸を推進できる社会づくりを目指した施設を整備することとした。</p> <p>現在、地域保健の中核施設となる保健所のほか健康づくり支援機能やこども育成支援機能などを付加した総合的な健康拠点となる岡崎げんき館の建設をPFI方式で進めている。</p> <p>・本市は、平成14年4月に東海地震により著しい被害が想定されるとして地震防災対策強化地域に、平成15年12月には東南海地震により著しい被害が想定されるとして地震防災対策推進地域にも指定されているが、本地区内には、災害発生時の避難所・避難場所にも指定されている市役所、文化ホール及び小学校・中学校のほか、一時的な退避場所ともなる公園・児童遊園、民間所有のグラウンドなどがバランスよく所在している。</p>
課題 ・道路幅に比して狭隘な歩道の拡幅、交通規制の見直しなど居住者の日常に配慮した都市基盤の整備
将来ビジョン(中長期) (岡崎市総合計画) ・災害時には周辺地域を視野に入れた広域的な連携による防災活動拠点として機能し、平常時には地域住民への防災意識の普及啓発及び教育訓練の場となる中央防災拠点施設の整備を進めます。 ・自発的な健康づくりを促進するため、生活習慣改善指導の支援や健康教育の充実を図ります。

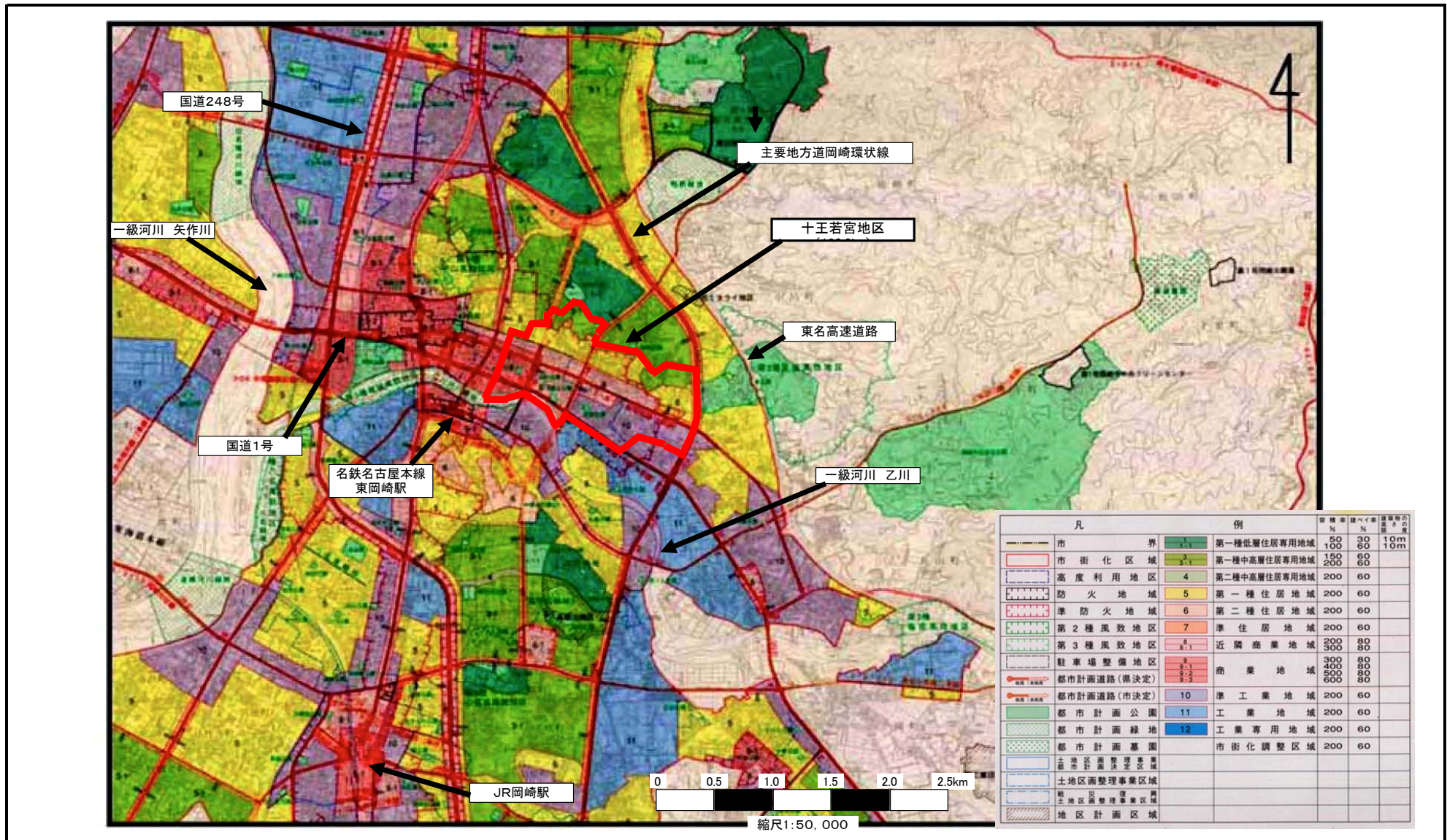
目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		
					基準年度		目標年度	
健康づくり支援施設利用者数	人/年	健康づくり支援施設の利用者の数値	利用者数の増減により、健康づくりへの関心度合を判断する。	38,000	平成17年度	235,000	平成22年度	
防災訓練・講習等参加者数	人/年	防災訓練・講習など防災活動の参加者等の数値	参加者数等の増減により、防災意識の向上度合を判断する。	24,000	平成17年度	120,000	平成22年度	
市民共同イベント参加者数	人/年	市民共同イベントの参加者の数値	イベント参加者数の増減により、市民交流の向上度合を判断する。	3,000	平成17年度	12,000	平成22年度	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・公道等の都市基盤の整備 	<ul style="list-style-type: none"> (基幹)市道消防署北線改良工事 (基幹)市道曙伝馬通線改良工事 (基幹)市道明大寺吹矢橋線改良工事 (基幹)市道伝馬町線改良工事 (基幹)市道市立病院東線改良工事 (基幹)市道祐金町1号線改良工事 (基幹)市道若宮朝日2号線改良工事 (基幹)十王公園整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の向上による防災活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> (基幹)地域生活基盤施設 (提案)防災拠点施設整備事業(防災啓発施設)
<ul style="list-style-type: none"> ・元気と活力を創造する拠点整備 	<ul style="list-style-type: none"> (提案)岡崎げんき館整備事業 (健康づくり施設(健康づくり・子ども育成・市民交流支援施設・保健所)、地域交流センター広場整備、既存施設解体工事)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民協働によるまちづくりの概要 <ul style="list-style-type: none"> ・岡崎げんき館整備事業の推進にあたっては、市民活動、ボランティア活動を通じて、市民等の交流促進に関する事業への参画及び支援を目的として、市民活動室、市民ギャラリー、交流スペース等からなる市民交流支援施設を整備し、事業を運営することを目標としている。 ・子どもから高齢者まで全ての世代を超えた交流機会の促進と、関連する団体や市内の6大学で構成する岡崎大学懇話会との連携を図り活動の場の提供を行うことにより交流機会の促進や地域の活性化を推進する。 ○市民会議の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・市民ワークショップを発端として、平成15年度岡崎げんき館整備基本構想の策定時から活動を重ね、平成16年度には、市民ワークショップのメンバーに加え、公募等により参加者を募り、市民会議を発足し、岡崎げんき館での市民活動団体の運営参画に向けた具体的な検討等を実施している。 ・市民会議は、岡崎げんき館の整備・運営や地域のまちづくりに関し、市民の立場から提案をしていくとともに、行政や民間事業者と協働して、施設運営に参画し、各種事業を企画・市内の6大学で構成する岡崎大学懇話会実施していくことを主な役割として活動を継続している。 ○自主防災組織の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策を進める上では、行政、市民、及び事業所等の役割を明確にし、相互に連携した活動を行うことが重要である。 ・本市には、自主防災組織として、概ね町を単位に479の防災防犯協会が組織されている。(組織率100%) ・平成14年度に東海地震の地震防災対策強化地域に指定されて以降、町防災防犯協会の活性化を図るため消防職員のOBによる防災活動事務局を設置し、地域の防災訓練、講習会開催を呼びかけている。 ・本年度では、町防災防犯協会の活動マニュアルを市が作成・配布し、説明会を開催するなど、日頃から災害に備えるとともに、いざという時に自律的に活動できる組織づくりを推進している。 ○東庁舎の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年1月の額田町との合併に備え、額田町の役場機能の市庁舎への移転及び職員の増加に対応するために平成17年度より東庁舎建設に着手した。 ・東庁舎には、災害対策本部、消防通信指令室及び防災啓発施設などを設置し、防災拠点施設としての機能を確保する計画である。 ・庁舎周辺整備工事として、西駐車駐車場整備工事による耐震強度の高い駐車場や防災倉庫の整備やそれに伴う既設北庁舎の解体工事を計画している。 	

都市再生整備計画の区域

<p>十王・若宮地区(愛知県岡崎市)</p>	<p>面積 130.0 ha</p>	<p>区域 若宮町、曙町、西中町、蓬莱町、両町の全部及び十王町、朝日町、梅園町、欠町、菅生町、伝馬通、中町、根石町、元欠町、門前町の一部</p>
------------------------	--------------------	--



十王・若宮地区(愛知県岡崎市) 整備方針概要図

目標	業務機能の集積と良好な都市基盤を背景とした、安全安心・快適なまちづくり	代表的な指標	健康づくり支援施設利用者数(人/年度)	38,000(17年度) → 235,000(22年度)
			防災訓練・講習等参加者数(人/年)	24,000(17年度) → 120,000(22年度)
			市民共同イベント開催回数(人/年)	3,000(17年度) → 12,000(22年度)

